

令和4年度定時総会次第

1 開会の言葉

2 表彰

3 理事長あいさつ

4 議長選出

5 定足数の報告

6 議事

(1) 報告事項

第1号報告 令和3年度収支補正予算について

(2) 決議事項

第1号議案 定款の変更について

第2号議案 令和3年度事業報告について

第3号議案 令和3年度決算について

監査報告

(3) 報告事項

第2号報告 令和4年度事業計画について

第3号報告 令和4年度収支予算について

7 その他

8 閉会の言葉

目 次

表 彰	1
(1) 報告事項	
第1号報告 令和3年度収支補正予算について	2
(2) 決議事項	
第1号議案 定款の変更について	6
第2号議案 令和3年度事業報告について	9
事業概要	10
1 受託事業実績	11
2 派遣事業実績	11
3 普及・啓発活動	11
4 会報の発行	12
5 適正就業の推進	12
6 新規就業先開拓活動	12
7 有料職業紹介事業	13
8 技術講習会の実施状況	13
9 安全就業の推進	13
10 独自事業 シルバー農園事業の実施	15
11 ボランティア活動の実施	15
12 研修旅行の実施	15
資料1 役員会等の開催状況	16
資料2 主な会議・行事等	19
資料3 受託事業職群別事業実績表	20
資料4 受託事業月別実績及び対前年実績比較表	21
資料5 年齢別会員登録状況	22
資料6 会員登録状況	22
資料7 地域班別会員状況	22
第3号議案 令和3年度決算について	23
1 貸借対照表	24
2 正味財産増減計算書	25
3 財務諸表に対する注記	27
4 附属明細書	28
5 財産目録	29
6 固定資産明細表	30
7 収支計算書	32
監査報告書	35
(3) 報告事項	
第2号報告 令和4年度事業計画について	36
第3号報告 令和4年度収支予算について	42

表 彰

・会員表彰(正会員在籍 20 年)

田淵 修 様

曾利 紀子 様

東條 俊信 様

第1号報告

令和3年度収支補正予算について

公益社団法人浜田市シルバー人材センター令和3年度補正予算について、
定款第42条第1項の規定により報告する。

令和4年6月17日提出

公益社団法人浜田市シルバー人材センター
理事長 小松原 俊行

令和3年度度収支補正予算書（第2号）

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

（単位：円）

科目	予算額	補正第1号	補正第2号	予算現額	備考
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受託事業収益	136,600,000	0	△ 1,414,000	135,186,000	
受取配分金	116,000,000	0	△ 1,620,000	114,380,000	受託事業の減
受取材料費等	9,000,000	0	403,000	9,403,000	受取材料費の増
受取事務費	11,600,000	0	△ 197,000	11,403,000	
労働者派遣事業等受託収益	4,671,000	0	△ 112,000	4,559,000	
労働者派遣事業等受託収益	4,671,000	0	△ 112,000	4,559,000	
受取会費	1,050,000	0	△ 220,000	830,000	会員数の減少・退会
正会員受取会費	1,020,000	0	△ 216,000	804,000	
賛助会員受取会費	30,000	0	△ 4,000	26,000	
受取補助金等	19,600,000	0	0	19,600,000	
受取連合交付金	9,800,000	0	0	9,800,000	
受取（市）補助金	9,800,000	0	0	9,800,000	
雑収益	217,000	0	△ 58,000	159,000	
受取利息	1,000	0	0	1,000	
雑収益	216,000	0	△ 58,000	158,000	マスク販売の減
配当金収益	1,000	0	0	1,000	
配当金収益	1,000	0	0	1,000	
経常収益計	162,139,000	0	△ 1,804,000	160,335,000	
(2) 経常費用					
事業費	158,385,000	350,000	△ 1,514,000	157,221,000	
支払配分金	116,000,000	0	△ 1,620,000	114,380,000	受託事業の減
支払材料費等	9,000,000	0	202,000	9,202,000	支払材料費の増
給料手当	16,927,000	0	△ 77,000	16,850,000	
産業医報酬	240,000	0	0	240,000	
臨時雇賃金	0	0	0	0	
法定福利費	2,627,000	0	42,000	2,669,000	
退職金給付費用	638,000	0	43,000	681,000	
福利厚生費	38,000	0	4,000	42,000	
会議費	2,000	0	△ 2,000	0	
役員等旅費交通費	175,000	0	△ 166,000	9,000	
旅費交通費	81,000	0	△ 23,000	58,000	コロナ対策の影響
通信運搬費	1,314,000	0	55,000	1,369,000	
減価償却費	710,000	0	51,000	761,000	
什器備品費	10,000	0	△ 10,000	0	
消耗品費	666,000	0	△ 28,000	638,000	
修繕費	109,000	150,000	200,000	459,000	車輛修繕費の増
印刷製本費	347,000	0	△ 76,000	271,000	事務局便り・募集チラシ・会報
光熱水料費	714,000	0	48,000	762,000	
賃借料	2,770,000	0	△ 20,000	2,750,000	
保険料	2,119,000	0	8,000	2,127,000	
諸謝金	122,000	0	7,000	129,000	
租税公課	586,000	200,000	△ 30,000	756,000	令和2年度消費税の増
支払負担金	433,000	0	0	433,000	
組織活動助成費	104,000	0	△ 9,000	95,000	
委託費	2,449,000	0	△ 96,000	2,353,000	車検料・他
教材費	5,000	0	△ 1,000	4,000	
支払手数料	184,000	0	△ 13,000	171,000	
貸倒損失	0	0	0	0	
雑費	15,000	0	△ 3,000	12,000	

(単位：円)

科目	予算額	補正第1号	補正第2号	予算現額	備考
管理費	3,754,000	0	△ 230,000	3,524,000	
役員報酬	798,000	0	6,000	804,000	
給料手当	2,169,000	0	0	2,169,000	
法定福利費	317,000	0	△ 114,000	203,000	
退職金給付費用	49,000	0	△ 32,000	17,000	
福利厚生費	8,000	0	2,000	10,000	
会議費	3,000	0	△ 3,000	0	
役員等旅費交通費	41,000	0	△ 11,000	30,000	
旅費交通費	0	0	0	0	
通信運搬費	83,000	0	0	83,000	
什器備品費	10,000	0	△ 10,000	0	
消耗品費	75,000	0	△ 46,000	29,000	
印刷製本費	22,000	0	0	22,000	
光熱水料費	2,000	0	0	2,000	
賃借料	12,000	0	0	12,000	
保険料	29,000	0	1,000	30,000	
諸謝金	62,000	0	△ 4,000	58,000	
支払負担金	31,000	0	3,000	34,000	
委託費	1,000	0	0	1,000	
雑費	42,000	0	△ 22,000	20,000	慶弔費・他
経常費用計	162,139,000	350,000	△ 1,744,000	160,745,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	0	△ 350,000	△ 60,000	△ 410,000	
基本財産評価損益等	0	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	0	
当期経常増減額	0	△ 350,000	△ 60,000	△ 410,000	
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	
(2) 経常外費用					
固定資産除却損	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	
一般正味財産期首残高	16,501,855	0		16,501,855	
一般正味財産期末残高	16,501,855	△ 350,000	△ 60,000	16,091,855	
II 指定正味財産増減の部					
(1) 収益					
収益計	0	0		0	
(2) 費用					
費用計	0	0		0	
当期指定正味財産増減額	0	0		0	
指定正味財産期首残高	0	0		0	
指定正味財産期末残高	0	0		0	
III 正味財産期末残高	16,501,855	△ 350,000	△ 60,000	16,091,855	

令和3年度収支補正予算書(注記) (第2号)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	補正第1号	補正第2号	予算現額	備考
【投資活動収支の部】					
<投資活動収入>					
固定資産売却収入	0	0	0	0	
車両運搬具売却収入	0	0	0	0	
什器備品売却収入	0	0	0	0	
敷金・保証金等戻り収入	0	0	0	0	
預託金戻り収入	0	0	0	0	
特定資産取崩収入	2,573,223	0	0	2,573,223	
財政運営資金積立資産取崩収入	1,500,000	0	0	1,500,000	
事務所移転費用積立資産取崩収入	1,073,223	0	0	1,073,223	
投資活動収入計	2,573,223	0		2,573,223	
<投資活動支出>					
固定資産取得支出	226,000	0	△ 116,000	110,000	
車両運搬具購入支出	226,000	0	△ 116,000	110,000	
什器備品購入支出	0	0		0	
敷金・保証金等支出	6,000	0	0	6,000	
預託金戻り支出	6,000	0	0	6,000	
特定資産取得支出	2,573,223	0	0	2,573,223	
財政運営資金積立資産取得支出	1,500,000	0	0	1,500,000	
事務所移転費用積立資産取得支出	1,073,223	0	0	1,073,223	
投資活動支出計	2,805,223	0	△ 116,000	2,689,223	
投資活動収支差額	0	0		△ 116,000	
【財務活動収支の部】					
<財務活動収入>					
借入金収入	0	0		0	
短期借入金収入	0	0		0	
財務活動収入計	0	0		0	
<財務活動支出>					
借入金返済支出	0	0		0	
短期借入金返済支出	0	0		0	
財務活動支出計	0	0		0	
当期収支差額	0	0		△ 116,000	

第1号議案

定款の変更について

公益社団法人浜田市シルバー人材センター定款の変更について、定款第46号第1項の規定に基づき議決を求める。

令和4年6月17日提出

公益社団法人浜田市シルバー人材センター
理事長 小松原 俊行

定款の変更(案)

1 変更趣旨

(1) 会員の入会については、理事会の承認が必要となっているが、理事会は2ヶ月に1回開催されており、入会申し込みから承認まで日数を要する場合がある。

高齢者の高い就業ニーズ等を考慮すれば、早期に入会承認を行う必要があることから、会員の入会承認を理事会承認から理事長承認に変更するもの。

(2) 「成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律」等の施行にともない、会員の資格喪失要件のうち「成年被後見人又は被保佐人になったとき」を削除する。

2 変更内容

(1) 第6条を次のように改める。

(入会)

第6条 会員として入会しようとする者は、所定の入会申込書を理事長に提出し、理事長の承認を得なければならない。

2 理事長は、前項の規定により承認しときは、直近の理事会においてこれを報告しなければならない。

(2) 第8条第2項を削除し、第3号を第2号とし、第4号から第6号まで1号ずつ繰り上げる。

附 則

この定款は、令和4年6月17日から施行する。

定款新旧対照表

変更後	現 行
<p>第1章 総則 (名称) 第1条～第4条 略 第2章 会員 第5条 略</p> <p>(入会) 第6条 会員として入会しようとする者は、<u>所定の入会申込書を理事長に提出し、理事長の承認を得なければならない。</u></p> <p>2 <u>理事長は、前項の規定により承認したときは、直近の理事会においてこれを報告しなければならない。</u></p> <p>第7条 略</p> <p>(会員の資格喪失) 第8条 会員が次のいずれかに該当する場合には、その資格を喪失する。 (1)退会したとき。 <u>(削除)</u></p> <p><u>(2)死亡し、若しくは失踪宣告を受け、又は会員である団体が解散したとき。</u> <u>(3)1年間以上会費又は賛助会費を滞納したとき。</u> <u>(4)除名されたとき。</u> <u>(5)すべての正会員の同意があったとき。</u></p> <p>以下省略</p> <p><u>附則</u> <u>この定款は、令和4年6月17日から施行する。</u></p>	<p>第1章 総則 (名称) 第1条～第4条 略 第2章 会員 第5条 略</p> <p>(入会) 第6条 会員として入会しようとする者は、<u>所定の入会申込書により申し込むものとする。</u></p> <p>2 <u>入会は、理事会においてその可否を決定し、これを本人に通知するものとする。</u></p> <p>第7条 略</p> <p>(会員の資格喪失) 第8条 会員が次のいずれかに該当する場合には、その資格を喪失する。 (1)退会したとき。 <u>(2)成年被後見人又は被保佐人になったとき。</u> <u>(3)死亡し、若しくは失踪宣告を受け、又は会員である団体が解散したとき。</u> <u>(4)1年間以上会費又は賛助会費を滞納したとき。</u> <u>(5)除名されたとき。</u> <u>(6)すべての正会員の同意があったとき。</u></p> <p>以下省略</p>

第2号議案

令和3年度事業報告について

公益社団法人浜田市シルバー人材センター令和3年度事業報告について、
定款第43条第2項の規定により承認を求める。

令和4年6月17日提出

公益社団法人浜田市シルバー人材センター
理事長 小松原 俊行

令和 3 年度 事業報告

事業概要

令和 3 年度は、前年度から引き続いての新型コロナウイルス感染症拡大に見舞われました。雇用情勢をはじめ社会経済活動は大きな打撃を受け、シルバー事業では就業の縮小など影響がでています。

派遣事業では、昨年度は事業縮小や契約の取りやめなどで大きく縮小しましたが、今年度は、事業所の感染対策などで就業の停滞が少なくなり、一昨年度の状況まで回復しました。また、受託事業においては、とりわけ、草刈、剪定といった請負作業の受注が多く、コロナ禍で心配された事業所等での清掃作業などの請負受注も回復した年度となりました。

シルバー人材センターが受注した仕事を確実に完了させるため、あるいは、企業、会社等の要望に応じてシルバー派遣を継続していくためには、健康で働く意欲のある会員を今以上に確保していく必要があります。しかし、人口減少や高齢化の進展に伴い生産年齢人口の減少といったこの地域が抱える求人難という状況が続いています。事業所の定年延長や再雇用制度なども行われており、シルバー会員の拡大が非常に難しくなっています。

各企業等からの就業やシルバー派遣での問い合わせもある状況ですが、現状の社会情勢からもシルバー人材センターの会員登録が伸び悩んでおり、また、新規入会者も 65 歳以上が多くシルバー会員の平均年齢も高齢化している状況です。

全シ協の「会員 100 万人達成計画」に基づき、令和 3 年度の目標は、前年度会員目標の 5.8%増、会員数 556 人としていましたが、年度末の会員数は 423 名という結果となりました。これは、コロナ禍により入会説明会の来場者数、入会者数に大きな影響があったこと、高齢や健康状態から退会される方も多かったことが原因と分析しています。高齢で体力的に就業機会が少なくなる会員の皆さんにも会員として在籍していただける魅力あるシルバー人材センターであることや、入会促進運動をさらに推し進め目標会員数確保に努力していかなければなりません。

本年度も引き続いて、旧郡部の入会者が少ないことから各地域に赴いての入会説明会を開催したことや、入会の声掛け運動の促進を図ってまいりました。声掛け運動は大変効果がある取り組みです。皆様のご尽力に感謝申し上げますとともに、引き続き会員拡大にご協力いただきますようお願い申し上げます。

センターの運営は、国と浜田市からの補助金、事務費収入が財源となっており、効率的な事業運営に引き続き取り組みました。

高齢社会が急速に進む中で、高齢者の生きがいづくりや、高齢者福祉の向上を目指すシルバー事業を健全に運営していくため、会員と役職員が一体となった取り組みを進めることがこれまで以上に重要です。

1 受託事業実績

	令和3年度	令和2年度	比較増減 △減
会 員 数	423人 (入会会員40人) (退会会員46人)	429人 (入会会員38人) (退会会員64人)	△6人
就業実人員	287人	285人	2人
就 業 率	67.8%	66.4%	1.4ポイント
就業延人員	22,329人	20,925人	1,404人
受託件数	3,639件	3,206件	433件
契約金額	135,180千円	132,234千円	2,946千円

2 派遣事業実績

	令和3年度	令和2年度	比較増減 △減
登録会員数	152人	151人	1人
就業実人員	89人	85人	4人
就 業 率	58.5%	56.3%	2.2ポイント
就業延人員	8,736人	8,033人	733人
受託件数	28件	30件	△2件
契約金額	51,092千円	45,912千円	5,180千円

受託と派遣の契約金額合計

	令和3年度	令和2年度	比較増減 △減
合 計	186,272千円	178,146千円	8,126千円

会員全体(受託と派遣)の就業率

	令和3年度	令和2年度	比較増減 △減
就業率	78.4%	79.3%	△0.9%

3 普及・啓発活動

シルバー人材センター事業をPRし会員募集と仕事の受注を拡大するための取り組みを行いました。

- ① 会員、役員が知人等へ「入会の声掛け運動」を行いました。
- ② まちづくりセンター、石央文化ホール等の施設へチラシを配架しました。
- ③ 会員加入率の低い旧那賀郡各地域(金城町、旭町、三隅町)で入会説明会を開催しました。
- ④ 市役所、浜田商工会議所、石央商工会(支所を含む)へ派遣事業紹介パンフを

配架しました。

- ⑤ 浜田市の広報「はまだ」に募集記事を掲載しました。

5月、12月、各号、計2回

- ⑥ 電話帳広告(サイネックス) 1回

- ⑦ 各種イベントへの参加

コロナ禍の対応により各種イベントが中止となりました。

- ⑧ ホームページによる情報提供を行いました。

- ⑨ 地域班会議の開催

会員拡大や新たな就業先を開拓していくために、地域において会員、役員が一体となって活動する必要があります。このため、活動を進める母体となる地域班を活性化させるため、地域班長会議を令和4年1月26日に予定していましたが、新型コロナウイルス「まん延防止等重点措置」が1月27日から2月20日までの期間適用され、急遽、開催を中止し、招集予定者(地域班長と各地域から1名)にアンケート調査を行いました。

・アンケート調査の実施

・対象者 地域班長会議招集者

18地区の地域班長及び各地域から1名、計36名

・内容 現行配分金の意見、その他意見、要望について

4 会報の発行

定時総会報告、会員の声等を掲載した、会報「飛翔」第37号を9月30日付で発行しました。

5 適正就業の推進

シルバー人材センターの就業について、請負と派遣の区分に関する基準に沿い、発注者の指揮、命令を受ける業務、発注者が雇用している従業員と混在して行う業務、発注者の資器材を使う業務等を派遣就業に切り替える、また新規発注分についても基準に沿って受注する取組みを進めました。派遣先は、10事業所となりました。

また、シルバー派遣については、労働安全衛生法に基づき、派遣労働者の安全衛生管理を図るため産業医の委嘱とともに、衛生委員会を毎月開催しました。

6 新規就業先開拓活動

就業機会の拡大と受注量の増大を図るため市内事業所に新規受注の依頼を行いました。また、事業部会と女性部会が合同でコロナ禍の状況をみながら事業所訪問を検討しました。事業所訪問は、コロナ禍の状況により中止としました。

7 有料職業紹介事業

臨時的、短期的な就業を希望する高年齢者に職業紹介を行う有料職業紹介事業の実績はありませんでした。

8 技術講習会の実施状況

襖・障子張替講習会(2月24日予定)、剪定講習会(3月2日予定)、刈払機・チェーンソー取扱講習会(3月3日予定)を予定していましたが、新型コロナウイルス「まん延防止等重点措置」が適用されたため、急遽、全ての講習会を中止し、状況を見て実施することとしました。

9 安全就業の推進

① 安全部会

安全部会を開催し、事故の検証と再発防止について協議を行い、安全就業の推進に努めました。

ア 第1回安全部会

年月日	参加者	内 容
8月18日	8名	・令和3年度に発生した事故の検証と再発防止に向けた取組 ・安全パトロール・・・1箇所

② 安全就業啓発の取組み

安全就業ニュースを発行し、安全就業を呼び掛けました。特に、事故の発生が多い草刈作業、剪定作業等においては、事前の安全点検が重要であり、就業前にミーティングを行い注意事項の確認を行う「安全就業点検表」の取組みを進めました。

③ 事故の発生状況

安全就業の指導と現場の就業状況の把握に努めてまいりましたが、通院、賠償をシルバー保険で対応した事故等、以下の事故が発生しました。

ア 傷害事故 12件

年月日	内 容	入院	通院
6月10日	剪定作業中、樹木の毛虫に刺された(腕、腹部)。		2日
6月14日	草刈作業就業途上中、国道9号線の信号機で赤信号で停車中に後ろから追突された。		8日
6月29日	剪定作業中、アシナガバチに右手甲に1か所刺された。		6日
7月19日	草刈作業中、アシナガバチに左手甲に1か所刺された。		2日
8月5日	草刈作業中、熱中症により救急搬送し入院となった。	6日	
9月22日	草刈作業中、スズメバチに右手中指、左手肘裏、左足膝裏、背中右肩後ろの4か所刺された。		1日

9月21日	(派遣就業)施設内で洗濯物を部屋ごとに届ける作業のため、洗濯物を取りに行く移動中、廊下の左側にあったAGV(無人給食搬送車、高さ約10cm)に、あやまって左足が乗り、その足が滑り前方へ右肩から転倒した。右上腕骨骨頭下骨折		29日
10月22日	屋内清掃作業就業後、徒歩で帰宅中、車両にはねられ医療センターへ救急搬送された。右恥骨骨折、第8胸椎圧迫骨折 入院10/22~11/12	22日	3日
11月2日	屋内清掃作業就業後、自転車で帰宅中、バランスを崩して転倒し左手親指を切傷した。(2針縫合)		8日
12月9日	伐採作業、伐採した樹木の小枝を左手で持って、右手で小型チェーンソーで切断中、チェーンソーが他の枝にあたり、反動でチェーンソーの刃が、左手親指、薬指、小指に接触し切傷した。		5日
12月20日	草刈作業中、自分の草刈機が鉄筋に接触し、チップソーのチップが飛び、自分の鼻の下と唇の上の2か所にあたり切傷した。		3日
1月24日	剪定伐採作業中、伐採した樹木の枝をトラックに積み込む作業で、あやまって枝が自分の左目に当たった。		1日

イ 賠償事故 4件

年月日	内 容	賠償額
4月9日	派遣就業:施設内で洗濯物をコンテナで運搬する作業中、あやまってコンテナが通路の壁にあたり壁が損傷した。	27,500円
4月14日	草刈作業中、刈払機(ナイロンカッター)で跳ねた小石が車の後方窓ガラスにあたり、ガラスが破損した。	77,594円
9月24日	剪定作業中、三脚を移動する際に、あやまって三脚の先端が家屋の窓にあたり、窓ガラスが破損した。	5,060円
2月8日	草刈作業中、あやまって草刈機の刃がLPガスのガス管に当たり、ガス管が破損した。	20,900円

ウ その他 3件

年月日	内 容	賠償額
7月21日	伐採作業で切った木材を軽トラック荷台に積み込む際、あやまって運転席後方ガラスに木材があたり、ガラスが破損した。	車両保険より 15,785円
7月29日	剪定及び処分作業中、1.5t車をバック進行で駐車する際、あやまって運転席側ドア下部がコンクリート支柱に接触し損傷した。	車両保険より 138,941円
3月2日	草刈作業後、エコクリーンセンターで刈草を降ろす際、ロープが車両の鳥居部分に引っかかり、鳥居部分が損傷した。	車両保険より 41,800円

10 独自事業 シルバー農園事業の実施

平成28年度の準備期間を経て平成29年度からシルバー農園事業を本格的に開始しています。れんげ保育園との共同事業として、園児と一緒にサツマイモを栽培するなど、シルバー事業の幅を拡げるとともに、会員の入会促進を図りました。

- ① 場 所 内村町一の瀬地内の休耕田
- ② 参加会員 25名
- ③ 栽 培 ジャガイモ、サツマイモ、ヤーコン、ウコン、タマネギ等17品目
- ④ れんげ保育園との共同事業
 - ・5月20日 サツマイモ苗の植え付け作業 園児、園関係者、
シルバー人材センター等 30名
 - ・10月20日 サツマイモ収穫作業 園児、園関係者、
シルバー人材センター等 29名

11 ボランティア活動の実施

シルバー人材センターの社会貢献活動として、看護学生との交流事業や模擬患者実習でお世話になっている浜田医療センター附属看護学校の周辺で、除草作業を予定していましたが、急遽中止しました。

実施日及び参加者

- ・7月2日(金) 中止 急遽、浜田医療センター外壁工事開始のため
- ・10月1日(金) 中止 外壁工事中であること、及びコロナ禍対応のため中止

12 研修旅行の実施

コロナ禍の対応のため本年度は中止しました。

資料1

役員会等の開催状況

年月日	会議名	主な内容
R3.5.19	第1回理事会 (出席)理事9名 監事1名	報告事項 ①補正予算報告 ②島根県シルバー人材センター連合会第5回理事会 ③理事監事候補者選考委員会 ④石見地区活動拠点役職員研修会 ⑤事業実績 ⑥事業報告 ⑦事故の発生状況 審議事項 ①入会の承認 ②理事・監事候補者の決定 ③議案審議 ④令和3年度定時総会における表彰 ⑤令和3年度定時総会の開催 ⑥令和3年度定時総会の運営 ⑦ボランティア除草作業の実施 ⑧研修旅行の実施 ⑨配分金の改定 ⑩事業予定
R3.6.17	令和3年度定時総会 (会員総数) 416名 出席会員28名 委任状提出会員 329名 合計357名	議事 (1)報告事項 第1号報告 令和2年度収支補正予算 (2)決議事項 第1号議案 令和2年度事業報告 第2号議案 令和2年度決算 監査報告 第3号議案 役員を選任について (3)報告事項 第2号報告 令和3年度事業計画 第3号報告 令和3年度収支予算
R3.6.17	第2回理事会 (出席)理事11名 監事2名	審議事項 ①理事長、副理事長、常務理事の選定について ②専門部会の担当役員について
R3.8.25	第3回理事会 (出席)理事9名 監事2名	報告事項 ①理事長、副理事長及び常務理事の職務の 執行状況 ②第1回広報部会

		<ul style="list-style-type: none"> ③第1回安全部会 ④シルバー農園事業 ⑤第1回ボランティア活動 ⑥産前・産後訪問サポーター認定講習会 ⑦事業実績 ⑧事業報告 ⑨事故の発生状況 <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①入会の承認 ②浜田市健康福祉フェスティバル ③島根県最低賃金の改定について ④研修旅行について ⑤事業予定
R3.11.17	<p>第4回理事会</p> <p>(出席)理事10名</p> <p>監事2名</p>	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①第3～4回広報部会 ②シルバー農園事業 ③旧那賀郡部での入会説明会の開催 ④事業実績 ⑤事業報告 ⑥事故の発生状況 <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①入会の承認 ②第4四半期における入会の声掛け運動について ③地域班会議について ④令和4年度定時総会の開催日程 ⑤事業予定
R4.1.14	<p>第5回理事会</p> <p>(出席)理事10名</p> <p>監事1名</p>	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①令和4年度定時総会 ②職業紹介責任者講習会 ③高齢者活躍人材確保育成事業 セレクトセミナー ④シルバー農園 ⑤事業実績 ⑥事業報告 ⑦事故の発生状況 <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①入会の承認 ②令和3年度収支補正予算 ③令和4年度事業計画の策定 ④配分金の改定について ⑤地域班長会議の開催について

		<ul style="list-style-type: none"> ⑥キャリアアップ教育訓練について ⑦襖・障子張替講習会について ⑧剪定講習会について ⑨刈払機・チェーンソー取扱講習会 ⑩新規就業先開拓事業所訪問 ⑪D&O 保険について ⑫事業予定
R4.3.22	<p>第6回理事会 (出席)理事10名 監事1名</p>	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①理事長、副理事長及び常務理事の職務の執行状況 ②地域班班長会議アンケート調査 ③事業部会・女性部会合同会議 ④シルバー農園事業 ⑤配分金見直検討委員会 ⑥キャリアアップ教育訓練 ⑦襖・障子張替講習会 ⑧剪定講習会 ⑨刈払機・チェーンソー取扱講習会 ⑩第1回総務部会・事業部会合同会議 ⑪事業実績 ⑫事業報告 ⑬事故の発生状況 <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①入会の承認 ②未収金の状況と貸倒損失について ③会費未納会員の資格喪失 ④令和4年度の会員数目標 ⑤嘱託職員の採用 ⑥事務局長の採用 ⑦シルバー人材センター事務所移転費用の積立 ⑧配分金の改定 ⑨令和3年度収支補正予算(第2号)について ⑩令和4年度事業計画 ⑪令和4年度収支予算 ⑫事業予定

資料2

主な会議・事業等

年	月	日	事 項	場所等	
R3	4	20	入会説明会	浜田市 SC	
		21	理事監事候補者選考委員会	浜田市 SC	
		23	石見地区活動拠点役職員研修会	津和野町	
	5	10	監査会	浜田市 SC	
		19	第1回理事会	浜田市 SC	
		20	入会説明会	浜田市 SC	
	6	20		シルバー農園、れんげ保育園と共同作業	シルバー農園
			3	島根県シルバー人材センター連合会第1回理事会	松江市
		17	令和3年度定時総会	浜田市 SC	
		17	第2回理事会	浜田市 SC	
		21	島根県シルバー人材センター連合会定時総会	松江市	
		21	入会説明会	浜田市 SC	
		7	14	第1回広報部会	浜田市 SC
			20	入会説明会	浜田市 SC
		8	18	第1回安全部会	浜田市 SC
			20	入会説明会	浜田市 SC
	23		第2回広報部会	浜田市 SC	
	9	25		第3回理事会	浜田市 SC
			30	第3回広報部会	浜田市 SC
		15	第4回広報部会	浜田市 SC	
		21	入会説明会	浜田市 SC	
		30	会報「飛翔」発行		
		10	20	シルバー農園、れんげ保育園との共同作業(収穫)	シルバー農園
			20	入会説明会	浜田市 SC
	11	9	金城地区入会説明会	金城町	
		10	旭地区入会説明会	旭町	
		11	三隅地区入会説明会	三隅町	
		17	第4回理事会	浜田市 SC	
		22	入会説明会	浜田市 SC	
	R4	12	20	入会説明会	浜田市 SC
			14	第5回理事会	浜田市 SC
		1	20	入会説明会	浜田市 SC
			4	事業部会・女性部会合同会議	浜田市 SC
16			第1回配分金見直検討委員会	浜田市 SC	
21			第2回配分金見直検討委員会	浜田市 SC	
21			入会説明会	浜田市 SC	
2		14	第1回総務部会・事業部会合同会議	浜田市 SC	
		22	入会説明会	浜田市 SC	
		22	第6回理事会	浜田市 SC	
		22	第6回理事会	浜田市 SC	

資料3

受託事業職群別事業実績表

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

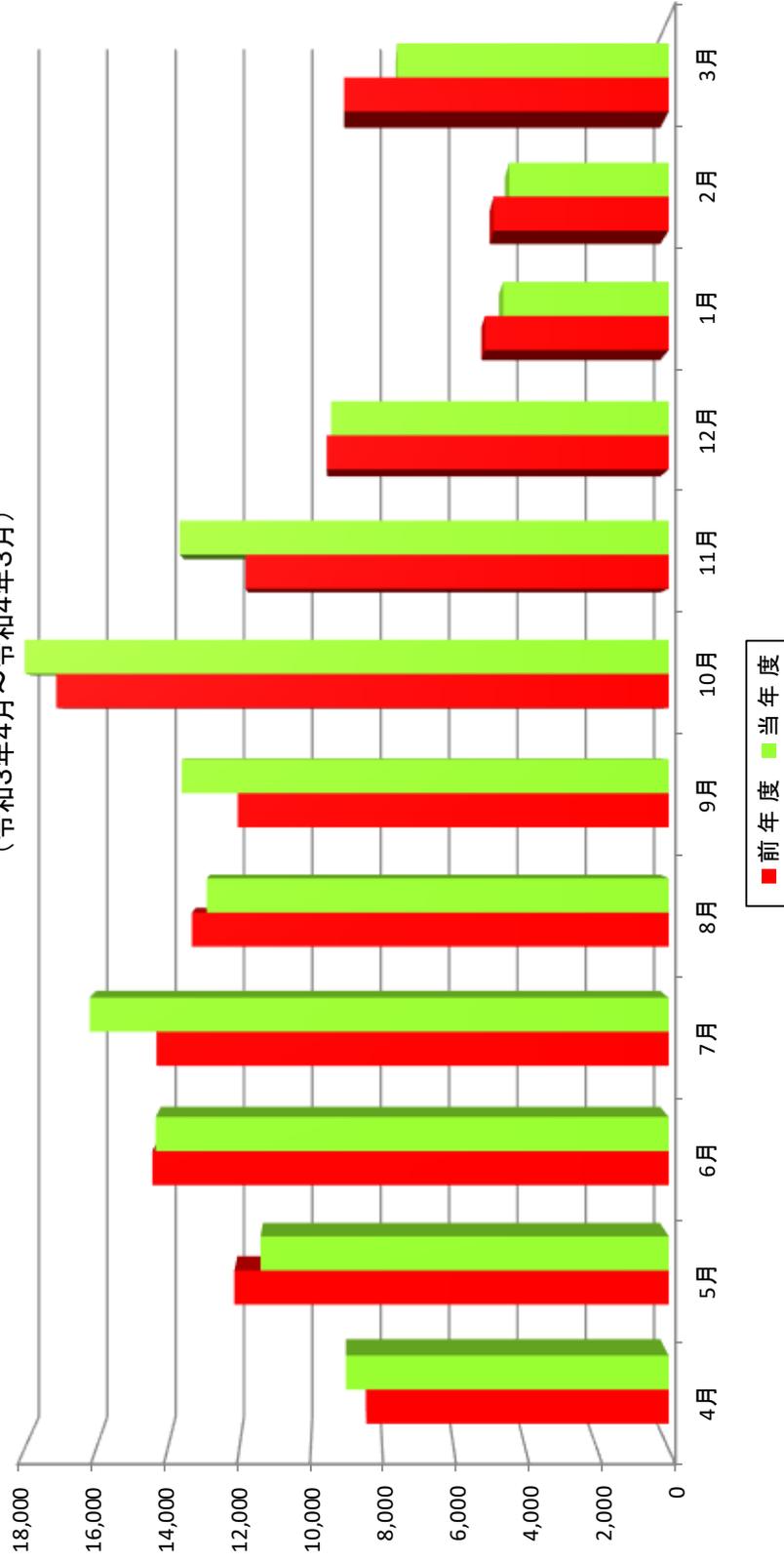
区分	事項	① 受注件数 (件)	② 職群別 登録会員数 (人)	③ 就業 実人員 (人)	④ 就業延人員 (人日)	⑤ 契約金額			
						報酬 (配分金)	材料費等	事務費	合計
職群別 内訳	技術群	3	88		105	662,987円	3,770円	61,782円	728,539円
	技能群	910	53		2,113	16,967,188円	2,875,653円	1,549,498円	21,392,339円
	事務整理群	54	33		716	2,183,844円	2,366円	218,777円	2,404,987円
	管理群	23	17		1,769	9,735,839円	3,221円	1,014,165円	10,753,225円
	折衝外交群	25	16		249	1,181,127円	50,222円	201,388円	1,432,737円
	一般作業群	1,990	200		16,580	81,700,167円	6,461,550円	8,179,767円	96,341,484円
	サービス群	39	16		797	1,948,056円	1,700円	177,114円	2,126,870円
	その他	0	0		0	0円	0円	0円	0円
	上段計	3,044	423	287	22,329	114,379,208円	9,398,482円	11,402,491円	135,180,181円

⑥ 履行期間別受注件数(件)	
10日未満	11件
10日以上1ヶ月未満	15件
1ヶ月以上3ヶ月未満	2,923件
3ヶ月以上6ヶ月未満	2件
6ヶ月以上	93件
合計	3,044件

公共・民間別 内訳	下段計	3,044	22,329	423	287	⑤ 契約金額			
						報酬 (配分金)	材料費等	事務費	合計
民間事業	公共事業	162	4,005			25,605,575円	3,679,071円	3,055,655円	32,340,301円
	一般企業等	536	11,274			50,596,020円	1,235,069円	5,003,456円	56,834,545円
	個人・家庭	2,346	7,050			38,177,613円	4,484,342円	3,343,380円	46,005,335円
	独自事業	0	0			0円	0円	0円	0円
公共	上段計	3,044	22,329	423	287	114,379,208円	9,398,482円	11,402,491円	135,180,181円

資料4

受託事業月別実績及び対前年実績比較表
(令和3年4月～令和4年3月)



単位：千円

(月別)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
前年度	8,446	12,132	14,423	14,310	13,318	12,037	17,104	11,820	9,552	5,132	4,893	9,066	132,234
当年度	9,014	11,400	14,330	16,175	12,904	13,607	17,986	13,659	9,432	4,627	4,457	7,588	135,180
前年比	106.7%	94.0%	99.4%	113.0%	96.9%	113.0%	105.2%	115.6%	98.7%	90.2%	91.1%	83.7%	102.2%

(累計)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前年度	8,446	20,578	35,001	49,312	62,630	74,667	91,771	103,591	113,143	118,275	123,168	132,234
当年度	9,014	20,414	34,744	50,919	63,823	77,430	95,416	109,075	118,507	123,135	127,592	135,180
前年比	106.7%	99.2%	99.3%	103.3%	101.9%	103.7%	104.0%	105.3%	104.7%	104.1%	103.6%	102.2%

資料 5

年齢別会員登録状況
(令和4年3月31日現在)

単位:人

性別 \ 年齢	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	合計	平均年齢
男	0	8	47	106	123	284	74.7歳
女	0	4	24	52	59	139	74.7歳
合計	0	12	71	158	182	423	74.7歳

資料 6

会員登録状況(第1希望職業分類別・男女別)

単位:人

	技術群	技能群	事務整理群	管理群	折衝外交群	一般作業群	サービス群	その他	計
男	72	51	16	17	11	114	3	0	284
女	16	2	17	0	5	86	13	0	139
計	88	53	33	17	16	200	16	0	423

資料 7

地域班別会員状況
(令和4年3月31日現在)

単位:人

地域班名	男	女	合計
国府班	27	26	53
石見1班	21	13	34
石見2班	14	9	23
石見3班	17	14	31
石見4班	10	2	12
石見5班	12	4	16
浜田1班	14	5	19
浜田2班	15	10	25
浜田3班	9	11	20
浜田4班	10	6	16
熱田班	10	13	23
長浜班	9	4	13
周布大麻班	22	3	25
美川班	14	3	17
金城班	24	5	29
旭班	9	4	13
三隅班	28	5	33
弥栄班	19	2	21
合計	284	139	423

第3号議案

令和3年度決算について

公益社団法人浜田市シルバー人材センター令和3年度決算について、
定款第43条第2項の規定により承認を求める。

令和4年6月17日提出

公益社団法人浜田市シルバー人材センター
理事長 小松原 俊行

1 貸借対照表

令和 4年 3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	152,686	278,292	△ 125,606
普通預金	9,870,088	8,382,634	1,487,454
未収金	7,948,492	9,723,244	△ 1,774,752
貯蔵品	15,254	12,993	2,261
立替金	66,888	23,566	43,322
前払金	29,000	31,000	△ 2,000
流動資産合計	18,082,408	18,451,729	△ 369,321
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
財政運営資金積立資産	1,500,000	1,500,000	0
事務所移転費用積立資産	1,073,223	1,073,223	0
特定資産合計	2,573,223	2,573,223	0
(3) その他固定資産			
建物付属設備	1,940,522	2,127,587	△ 187,065
構築物	93,841	103,148	△ 9,307
車輛運搬具	59,592	453,899	△ 394,307
什器備品	327,951	387,274	△ 59,323
電話加入権	224,952	224,952	0
預託金	70,220	64,450	5,770
出資金	10,000	10,000	0
その他固定資産合計	2,727,078	3,371,310	△ 644,232
固定資産合計	5,300,301	5,944,533	△ 644,232
資産合計	23,382,709	24,396,262	△ 1,013,553
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	6,903,661	7,550,491	△ 646,830
前受金	31,000	47,000	△ 16,000
預り金	340,862	296,916	43,946
流動負債合計	7,275,523	7,894,407	△ 618,884
負債合計	7,275,523	7,894,407	△ 618,884
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	16,107,186	16,501,855	△ 394,669
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(2,573,223)	(2,573,223)	(0)
正味財産合計	16,107,186	16,501,855	△ 394,669
負債及び正味財産合計	23,382,709	24,396,262	△ 1,013,553

2 正味財産増減計算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	135,184,211	132,233,977	2,950,234
受取配分金	114,379,208	111,903,823	2,475,385
受取材料費等	9,402,512	9,139,777	262,735
受取事務費	11,402,491	11,190,377	212,114
労働者派遣事業等受託収益	4,558,647	3,978,423	580,224
労働者派遣事業等受託収益	4,558,647	3,978,423	580,224
受取会費	829,000	846,000	△ 17,000
正会員受取会費	803,000	816,000	△ 13,000
賛助会員受取会費	26,000	30,000	△ 4,000
受取補助金等	19,600,000	19,600,000	0
受取連合交付金	9,800,000	9,800,000	0
受取(市)補助金	9,800,000	9,800,000	0
雑収益	157,804	376,493	△ 218,689
受取利息	148	355	△ 207
雑収益	157,656	376,138	△ 218,482
配当金収益	200	200	0
配当金収益	200	200	0
経常収益計	160,329,862	157,035,093	3,294,769
(2) 経常費用			
事業費	157,206,897	154,793,716	2,413,181
支払配分金	114,379,208	111,903,823	2,475,385
支払材料費等	9,201,406	8,679,447	521,959
産業医報酬	240,000	240,000	0
給料手当	16,849,215	17,458,149	△ 608,934
法定福利費	2,668,161	2,973,045	△ 304,884
退職給付費用	680,170	483,240	196,930
福利厚生費	41,845	35,845	6,000
役員等旅費交通費	8,268	4,699	3,569
旅費交通費	57,210	53,530	3,680
通信運搬費	1,368,737	1,263,684	105,053
減価償却費	760,002	983,217	△ 223,215
消耗品費	637,392	983,999	△ 346,607
修繕費	458,111	253,323	204,788
印刷製本費	270,402	150,524	119,878
光熱水料費	761,504	650,011	111,493
賃借料	2,749,498	2,922,505	△ 173,007
保険料	2,126,620	2,131,970	△ 5,350
諸謝金	128,838	88,780	40,058
租税公課	755,720	560,570	195,150
支払負担金	432,775	432,775	0
組織活動助成費	94,213	94,312	△ 99
委託費	2,352,067	1,985,905	366,162

科目	当年度	前年度	増減
教材費	3,860	4,210	△ 350
支払手数料	170,255	159,055	11,200
貸倒損失	0	294,938	△ 294,938
雑費	11,420	2,160	9,260
管理費	3,517,634	3,499,526	18,108
役員報酬	804,000	765,000	39,000
給料手当	2,168,600	2,060,170	108,430
法定福利費	202,315	331,421	△ 129,106
退職給付費用	16,200	28,350	△ 12,150
福利厚生費	9,169	7,169	2,000
役員等旅費交通費	29,323	21,960	7,363
通信運搬費	82,075	79,148	2,927
消耗品費	28,252	33,974	△ 5,722
印刷製本費	22,000	21,450	550
光熱水料費	2,000	1,200	800
賃借料	12,000	12,127	△ 127
保険料	29,500	29,000	500
諸謝金	58,000	54,000	4,000
支払負担金	33,200	27,700	5,500
委託費	1,000	857	143
雑費	20,000	26,000	△ 6,000
経常費用計	160,724,531	158,293,242	2,431,289
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 394,669	△ 1,258,149	863,480
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 394,669	△ 1,258,149	863,480
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 394,669	△ 1,258,149	863,480
一般正味財産期首残高	16,501,855	17,760,004	△ 1,258,149
一般正味財産期末残高	16,107,186	16,501,855	△ 394,669
II 指定正味財産増減の部			
(1) 収益			
収益計	0	0	0
(2) 費用			
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	16,107,186	16,501,855	△ 394,669

3 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 公益法人会計基準を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産について、定額法により減価償却を実施している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
財政運営資金積立資産	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
事務所移転費用積立資産	1,073,223	1,073,223	1,073,223	1,073,223
合 計	2,573,223	2,573,223	2,573,223	2,573,223

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
財政運営資金積立資産	1,500,000	(0)	(1,500,000)	(0)
事務所移転費用積立資産	1,073,223	(0)	(1,073,223)	(0)
合 計	2,573,223	(0)	(2,573,223)	(0)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	2,687,502	746,980	1,940,522
構築物	139,601	45,760	93,841
車輛運搬具	7,808,216	7,748,624	59,592
什器備品	2,962,646	2,634,695	327,951
合 計	13,597,965	11,176,059	2,421,906

- 5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
高年齢者就業機会確保事業費等補助金	国	0	5,339,000	5,339,000	0	—
雇用開発支援事業費等補助金	国	0	4,461,000	4,461,000	0	—
高年齢者就業機会確保事業費等補助金	市	0	5,339,000	5,339,000	0	—
雇用開発支援事業費等補助金	市	0	4,461,000	4,461,000	0	—
合 計		0	19,600,000	19,600,000	0	

4 附属明細書

- 1 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区 分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	財政運営資金積立資産	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
	事務所移転費用積立資産	1,073,223	1,073,223	1,073,223	1,073,223
	特定資産計	2,573,223	2,573,223	2,573,223	2,573,223

- 2 引当金の明細
 該当なし。

5 財産目録
令和4年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手許現金有高	シルバー人材センター事業の運 転資金として	152,686
	預金・貯金	普通預金山陰合同銀行 浜田支店	シルバー人材センター事業の運 転資金として	5,216,926
		普通預金日本海信用金 庫本店営業部		2,467,771
		普通預金島根県農業協 同組合浜田支所		1,795,098
		ゆうちょ銀行		390,293
	未収金	受託事業契約金額	シルバー人材センター事業の受 託事業他未収金	7,948,492
	貯蔵品	手許金券	収入印紙、切手等	15,254
立替金	物損事故保険金	物損事故の立替支払	66,888	
前払金	翌年度予算	翌年度役員賠償責任保険、社会 保険協会費	29,000	
流動資産合計				18,082,408
(固定資産)				
特定資産				
	財政運営資金積立資産	日本海信用金庫定期預金	シルバー人材センター事業に使用 するための積立資産	1,500,000
	事務所移転費用積立資産	日本海信用金庫定期預金	公益目的保有財産として事務所 移転のために特定費用準備資金 として管理している預金	1,073,223
その他固定資産				
	建物附属設備	木製建具、内装、電気・給 排水・空調設備等	公益目的保有財産としての事務所 施設内の附属設備	1,940,522
	構築物	建物外構工事	公益目的保有財産としての事務所 施設の外構工事	93,841
	車輛運搬具	車輛 10 台	公益目的保有財産としてシルバー 人材センター事業に使用している	59,592
	什器備品	カッター機他	公益目的保有財産としてシルバー 人材センター事業に使用している	327,951
	電話加入権	加入権	公益目的保有財産としてシルバー 人材センター事業に使用している	224,952
	預託金	自動車リサイクル料金	公益目的保有財産としてシルバー 人材センター事業に使用している	70,220
	出資金	日本海信用金庫	シルバー人材センター事業に使用 するための出資金額	10,000
固定資産合計				5,300,301
資産合計				23,382,709
(流動負債)				
	未払金	配分金他	シルバー人材センター事業に供する 配分金他の未払い金額	6,903,661
		材料費等支出他	翌年度に支払う材料費等支出	
	預り金	職員源泉税等	職員からの源泉所得税等預り金	340,862
	前受金	会費	翌年度正会員会費	31,000
流動負債合計				7,275,523
負債合計				7,275,523
正味財産				16,107,186

6 固定資産明細表

(1) 建物附属設備目録

品名	取得年月日	取得価格	当期減価償却額	減価償却累計額	帳簿価額
木製建具(木製建具工事)	平成 29 年 5 月 19 日	743,040	49,536	243,552	499,488
内装(内装工事)	平成 29 年 5 月 19 日	656,683	43,779	215,247	441,436
電気設備(電気設備工事)	平成 29 年 5 月 19 日	194,319	12,955	63,696	130,623
給排水設備(給排水設備工事)	平成 29 年 5 月 19 日	323,460	21,564	106,023	217,437
空調設備更新工事(2 階会議室)	令和 2 年 4 月 16 日	770,000	59,231	118,462	651,538
合計(5 設備)		2,687,502	187,065	746,980	1,940,522

(2) 構築物目録

品名	取得年月日	取得価額	当期減価償却額	減価償却累計額	帳簿価額
建物外構工事	平成 29 年 5 月 19 日	139,601	9,307	45,760	93,841
合計		139,601	9,307	45,760	93,841

(3) 車輛運搬具目録

(単位:円)

品名	取得年月日	取得価額	当期減価償却額	減価償却累計額	帳簿価額
クボトラクター L122	平成 14 年 5 月 17 日	950,000	9,499	949,999	1
三菱軽トラ島根 480 あ 4341	平成 17 年 6 月 27 日	788,000	7,879	787,999	1
三菱 1.5t400 す 5824	平成 19 年 3 月 26 日	2,299,500	22,994	2,299,499	1
日産軽トラ島根 480 さ 4094	平成 27 年 12 月 18 日	809,356		809,355	1
日産軽バン島根 480 さ 5056	平成 28 年 2 月 19 日	801,760		801,759	1
日産軽トラ島根 480 す 2740	平成 29 年 3 月 15 日	693,630	138,725	693,629	1
日産軽バン島根 480 せ 122	平成 29 年 3 月 20 日	888,850	203,692	888,849	1
三菱ランサーカーゴ 島根 400 ゆ 5023	令和元年 6 月 2 日	162,000	20,249	161,999	1
トヨタ 1.5t トラック 島根 400 ゆ 5258	令和元年 7 月 31 日	305,120	50,852	305,119	1
三菱軽トラ島根 480 こ 9536	令和 3 年 4 月 27 日	110,000	50,417	50,417	59,583
合計(10 台)		7,808,219	504,307	7,748,624	59,592

(4) 什器備品目録

(単位:円)

品名	取得年月日	取得価額	当期減価償却額	減価償却累計額	帳簿価額
スイングフォッグ SN50	平成 19 年 5 月 1 日	383,250		383,249	1
ホームエアコン床置型P63形	平成 21 年 5 月 16 日	523,950		523,949	1
ホームエアコン床置型P63形	平成 21 年 5 月 16 日	523,950		523,949	1
スイングフォッグ SN50	平成 26 年 6 月 1 日	421,200		421,199	1
カッター機MFC2340	平成 26 年 10 月 7 日	569,700		569,699	1
クボタミニ耕運機TRS60	平成 29 年 3 月 29 日	151,200	21,600	108,000	43,200
窪田工業所物置 ND-Z3622Y	平成 29 年 3 月 28 日	252,006	14,824	74,118	177,888
エアコン 三菱 MZS-GE4020S	令和 2 年 12 月 8 日	137,390	22,899	30,532	106,858
合計		2,962,646	59,323	2,634,695	327,951

(5) 電話加入権

(単位:円)

品名	取得年月日	取得価額	帳簿価額
電話加入権	平成 6 年 11 月 1 日	74,984	74,984
電話加入権	平成 6 年 11 月 1 日	74,984	74,984
電話加入権	平成 6 年 11 月 1 日	74,984	74,984
合計		224,952	224,952

(6) 預託金目録

(単位:円)

品名	取得年月日	取得価額	帳簿価額
三菱 1.5t400 す 5824	平成 19 年 3 月 26 日	8,700	8,700
スバル軽バン島根 480 え 9943	平成 25 年 3 月 16 日	8,670	8,670
日産軽トラ島根 480 さ 4094	平成 27 年 12 月 18 日	5,990	5,990
日産軽バン島根 480 さ 5056	平成 28 年 2 月 19 日	7,860	7,860
日産軽トラ島根 480 す 2740	平成 29 年 3 月 15 日	5,990	5,990
日産軽バン島根 480 せ 122	平成 29 年 3 月 20 日	7,770	7,770
三菱フンサーカーゴ 島根 400 ゆ 5023	令和元年 6 月 2 日	11,770	11,770
トヨタダイナ 1.5tトラック 島根 400 ゆ 5258	令和元年 7 月 31 日	7,700	7,700
三菱軽トラ島根 480 こ 9536	令和 3 年 4 月 27 日	5,770	5,770
合計		70,220	70,220

(7) 出資金目録

(単位:円)

品名	取得年月日	取得価額	帳簿価額
日本海信用金庫	平成 20 年 8 月 12 日	10,000	10,000
合計		10,000	10,000

(8) 事務所移転費用積立資産目録

(単位:円)

品名	取得年月日	取得価額	帳簿価額
日本海信用金庫	令和 3 年 3 月 31 日	1,073,223	1,073,223
合計		1,073,223	1,073,223

(9) 財政運営資金積立資産目録

(単位:円)

品名	取得年月日	取得価額	帳簿価額
日本海信用金庫	令和 3 年 3 月 31 日	1,500,000	1,500,000
合計		1,500,000	1,500,000

7 収支計算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
受託事業収益	135,186,000	135,184,211	1,789
受取配分金	114,380,000	114,379,208	792
受取材料費等	9,403,000	9,402,512	488
受取事務費	11,403,000	11,402,491	509
労働者派遣事業等受託収益	4,559,000	4,558,647	353
労働者派遣事業等受託収益	4,559,000	4,558,647	353
受取会費	830,000	829,000	1,000
正会員受取会費	804,000	803,000	1,000
賛助会員受取会費	26,000	26,000	0
受取補助金等	19,600,000	19,600,000	0
受取連合交付金	9,800,000	9,800,000	0
受取(市)補助金	9,800,000	9,800,000	0
特定資産運用益	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0
雑収益	159,000	157,804	1,196
受取利息	1,000	148	852
雑収益	158,000	157,656	344
配当金収益	1,000	200	800
配当金収益	1,000	200	800
経常収益計	160,335,000	160,329,862	5,138
(2)経常費用			
事業費	157,221,000	157,206,897	14,103
支払配分金	114,380,000	114,379,208	792
支払材料費等	9,202,000	9,201,406	594
役員報酬	0	0	0
産業医報酬	240,000	240,000	0
給料手当	16,850,000	16,849,215	785
臨時雇賃金	0	0	0
法定福利費	2,669,000	2,668,161	839
退職給付費用	681,000	680,170	830
福利厚生費	42,000	41,845	155
会議費	0	0	0
役員等旅費交通費	9,000	8,268	732
旅費交通費	58,000	57,210	790
通信運搬費	1,369,000	1,368,737	263
減価償却費	761,000	760,002	998
什器備品費	0	0	0
消耗品費	638,000	637,392	608
修繕費	459,000	458,111	889
印刷製本費	271,000	270,402	598
光熱水料費	762,000	761,504	496
賃借料	2,750,000	2,749,498	502
保険料	2,127,000	2,126,620	380
諸謝金	129,000	128,838	162
租税公課	756,000	755,720	280
支払負担金	433,000	432,775	225
組織活動助成費	95,000	94,213	787

科目	予算額	決算額	差異
委託費	2,353,000	2,352,067	933
教材費	4,000	3,860	140
支払手数料	171,000	170,255	745
貸倒損失	0	0	0
雑費	12,000	11,420	580
管理費	3,524,000	3,517,634	6,366
役員報酬	804,000	804,000	0
給料手当	0	2,168,600	△ 2,168,600
嘱託職員賃金	2,169,000	0	2,169,000
法定福利費	203,000	202,315	685
退職給付費用	17,000	16,200	800
福利厚生費	10,000	9,169	831
会議費	0	0	0
役員等旅費交通費	30,000	29,323	677
旅費交通費	0	0	0
通信運搬費	83,000	82,075	925
什器備品費	0	0	0
消耗品費	29,000	28,252	748
印刷製本費	22,000	22,000	0
光熱水料費	2,000	2,000	0
賃借料	12,000	12,000	0
保険料	30,000	29,500	500
諸謝金	58,000	58,000	0
支払負担金	34,000	33,200	800
委託費	1,000	1,000	0
支払委託金等返還	0	0	0
雑費	20,000	20,000	0
経常費用計	160,745,000	160,724,531	20,469
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 410,000	△ 394,669	△ 15,331
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 410,000	△ 394,669	△ 15,331
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
車両運搬具除却損	0	0	0
什器備品除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 410,000	△ 394,669	△ 15,331
一般正味財産期首残高	16,501,855	16,501,855	0
一般正味財産期末残高	16,091,855	16,107,186	△ 15,331
II 指定正味財産増減の部			
(1) 収益			
収益計	0	0	0
(2) 費用			
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	16,091,855	16,107,186	△ 15,331

収 支 計 算 書 (注記)

令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異
【投資活動収支の部】			
<投資活動収入>			
特定資産取崩収入	2,573,223	2,573,223	0
財政運営資金積立資産取崩収入	1,500,000	1,500,000	0
事務所移転費用積立資産取崩収入	1,073,223	1,073,223	0
敷金・保証金等戻り収入	0	0	0
預託金戻り収入	0	0	0
投資活動収入計	2,573,223	2,573,223	0
<投資活動支出>			
固定資産取得支出	110,000	110,000	0
車両運搬具購入支出	110,000	110,000	0
什器備品購入支出	0	0	0
建物付属設備購入支出	0	0	0
特定資産取得支出	2,573,223	2,573,223	0
財政運営資金積立資産取得支出	1,500,000	1,500,000	0
事務所移転費用積立資産取得支出	1,073,223	1,073,223	0
敷金・保証金等支出	6,000	5,770	230
預託金支出	6,000	5,770	230
投資活動支出計	2,689,223	2,688,993	230
投資活動収支差額	△ 116,000	△ 115,770	△ 230
【財務活動収支の部】			
<財務活動収入>			
借入金収入	0	0	0
短期借入金収入	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0
<財務活動支出>			
借入金返済支出	0	0	0
短期借入金返済支出	0	0	0
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	△ 116,000	△ 115,770	△ 230

監査報告書

令和4年5月11日

公益社団法人浜田市シルバー人材センター
理事長 小松原 俊行 殿

公益社団法人浜田市シルバー人材センター

監事 竹吉 秀年 

監事 湯浅 明百美 

私達は、公益社団法人浜田市シルバー人材センターの令和3年度における会計及び業務の監査を行いました。

その結果について次のとおり報告いたします。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査については、会計帳票及び関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて実施しました。
- (2) 業務監査については、関係者から実施事業の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて実施しました。

2 監査の結果

- (1) 公益社団法人浜田市シルバー人材センターの令和3年度の計算書類及びその附属明細書は、一般に公正妥当と認められる公益法人会計基準に準拠しており、正味財産増減の状況及び財産状態を適正に表示しているものと認めます。
- (2) 公益社団法人浜田市シルバー人材センターの令和3年度の事業報告書の内容は真実であり、法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

第2号報告

令和4年度事業計画について

公益社団法人浜田市シルバー人材センター令和4年度事業計画について、
定款第42条第1項の規定により報告する。

令和4年6月17日提出

公益社団法人浜田市シルバー人材センター
理事長 小松原 俊行

令和4年度 事業計画

事業概要

シルバー人材センターの目的は、

- ①高齢者に働く機会を提供することを通じて、生きがいの充実や健康の維持・増進や経済的な生活の安定を図る。
- ②高齢者が地域社会の担い手として活躍することを通して、地域社会の維持発展を図る。
- ③育児などの現役世代を支える分野で高齢者が働くことを通して、現役世代を支える。
- ④人手不足の企業で高齢者が働くことを通して、人手不足の解消を図る。

この実現に向けて令和4年度事業を進めてまいります。

総務省の統計によると、65歳以上の高齢者は全国で3,618万人(1月概算値)、高齢化率は28.8%(前年度28.7%)で、内閣府の白書によると、過去最多、世界最高となっており、今後も高水準を維持していくとされています。

浜田市においては高齢化率が37.8%(本年2月末)となり、高齢化と少子化による労働力人口の減少が進行しています。

国では、人口減少と労働生産性の低迷から人口は増えなくても働く人の数を増やす経済成長の施策「働き方改革」を推し進めています。いったん退職した高齢者の社会参加を促すことやシニア層の活用、雇用形態の格差を埋める「同一労働・同一賃金」、70歳までの就業機会確保の企業の努力義務の高齢法の改正などが進められています。

そうした中で、シルバー人材センターが果たす役割はますます重要となっております。とりわけ、地域における労働力不足が顕著となる中、シルバー派遣事業を積極的に推進していく必要があります。

一昨年以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大という事態に見舞われ、シルバー事業においても会員数や契約額に大きな影響がでました。令和4年に入り、新たな変異株などで全国的にも新規感染者が減少しない状況が続いており、引き続いて、コロナ禍の状況を注視しながらシルバー事業を推進してまいります。

シルバー人材センターが受注した仕事を確実に完了させるため、また、企業、会社等の要望に応じてシルバー派遣を継続していくためには、健康で働く意欲のある会員を今以上に確保していく必要があります。しかし、事業所における定年延長や再雇用制度の定着、地域的な求人難という社会状況の中で、会員の拡大が非常に難しくなっています。

会員拡大に向けて、会員と役員が一体となり、「入会の声掛け運動」を柱に、入会促進の取組みの強化を図ってまいります。

一方で、会員の様々な就業ニーズに応えるためには、新しい就業先の確保と職域を拡大させることが極めて重要であり、引続き新規就業先開拓の取組みを進めます。

また、就業中や就業途上での事故発生を防ぐため、安全就業の取組みを推進してまいります。

地域生活に密着したニーズに着実に対応し、地域社会からの期待に応じていくため、以下の事業実施計画に基づいて、公正、公平、適切な事業推進を図ってまいりますので、会員の皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

事業実施計画

I 組織の拡大強化

(1) 会員拡大目標

全国シルバー人材センター事業協会が設定した第2次100万人計画(計画期間:平成30年度～令和6年度(7か年))の取組について、コロナ禍の影響により、会員数が下げ止まらない状況にあることから、当面、コロナ前の水準(令和元年度数値)の会員数に回復させる目標とする計画変更が示されました。浜田市シルバー人材センターの令和4年度の会員数目標を次のとおり設定します。

会員数目標 460人(令和元年度会員数実績455人)

(2) 会員入会促進の取組

- ①会員、役員が知人、友人に口コミでシルバー人材センターへの加入を勧める、「入会の声掛け運動」に引き続き取り組みます。
- ②会員加入率の低い旧那賀郡各地域でシルバー事業をPRするとともに、各地域で入会説明会を開催し入会促進に努めます。
- ③会員の希望、能力、就業条件等のニーズを把握し、会員一人ひとりに適した就業先の確保に努めます。
- ④各種講習会の開催を行い会員の勧誘に努めます。
- ⑤シルバー派遣事業を推進するため、派遣労働を希望する会員の確保に努めます。
- ⑥チラシの新聞折込や広報「はまだ」での周知、浜田市シルバー人材センターホームページをはじめ、様々なPR媒体を活用して会員の拡大に努めます。
- ⑦浜田医療センター看護学校祭や地域の各種催物等のイベントにおいてシルバー事業のPRを行います。
- ⑧会員の余暇を利用した生きがいくりの場として、シルバー人材センター同好会活動やシルバー農園事業など就労以外の活動の拡大を図ります。

(3) 女性会員の拡大

女性会員の加入率は32.9%で全国平均の33.9%(R3年12月)と比べると1ポイント低い加入率となっています。シルバー事業を推進するためには、女性会員の拡大が重要な課題です。

浜田市では「産前産後家事支援サポーター派遣事業」の無料券を配布するなど子育て支援の充実を図っています。シルバーにおいては、家事援助に従事する女性会員の拡大を進めます。

(4) 会員の退会を抑制する取組み

- ①会員を増やしていくためには、退会会員を少なくすることが重要です。シルバーでは新入会会員以上に退会され会員数が減少しています。体調不良等は止むを得ないものの、「シルバーで仕事が無い」理由による退会者を出さないことを目標に、会員が希望している仕事の受注が無い場合や、様々な理由で就業していない会員に対して、ほかの仕事を紹介する、会員が就業可能な状態であるかの確認などの取組みを進め、未就業会員の削減を図ります。
- ②退会される会員は、「高齢」という理由が主なものです。しかしながら、高齢とともに就業機会が少なくなっても各種同好会やボランティア活動、研修旅行、

シルバー農園事業などシルバー会員として参加することで充実した生活や社会貢献、域外につながることも、また、シルバー人材センターとしても会員で在籍することで新会員入会の紹介や就業の斡旋が期待できることです。ついては、就業機会が少なくなる高齢会員について、引き続いて会員として在籍していただき、多方面の活動のお願いとともに活躍を期待するため、満85歳以上の会員(令和3年度実績22名)を通称「ゴールド会員」として年会費を1,000円とします。

(5) 配分金の引き上げ

配分金は、平成29年に改定以後、令和元年10月の消費税率改定に伴い増税分の配分金見直しを行いました。現在の社会情勢、諸物価の高騰から配分金の引き上げを行います。

II 適正就業の取組みとシルバー派遣事業の推進

適正就業の取組みにより、請負では受注できない仕事をシルバー派遣に切替えてきましたが、発注時の相談において業務内容を十分見極め、適正な就業体制とすることで適正就業を推進します。

令和2年度の国庫補助金は、シルバー派遣事業の就業延人員により金額が決定される「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」が継続されます。引き続き派遣事業の拡大に取り組む必要があり、就業先を確保するとともに派遣会員を増員し、就業延人員の目標を10,000人日(令和3年度実績8,600人日)に設定しシルバー派遣事業を推進します。

III 就業の場の拡大

(1) 受注先の開拓

- ① 地域において、会員、役員が「受注の声掛け運動」を進めます。
- ② 民間事業所、行政機関、一般家庭等への訪問やチラシ配布、各種イベントの参加を通じてシルバー事業をPRし、就業機会の拡大と受注量の増大に努めます。
- ③ 発注者からの視点に立って、電話対応、言葉使い等の接遇向上に努め、魅力のあるセンターを目指します。
- ④ 草刈、剪定作業等の終了時に、発注者に対し、会員が責任をもって作業した旨を伝え、会員の代表者(班長)の名刺を渡します。シルバーの周知とともに責任の所在を明らかにします。

(2) 公平な就業の確立

就業情報の提供に努め、長期就労の見直しを行い、就業の公平性の確立に努めます。

(3) 技術研修会・講習会の実施

各種研修会・講習会を実施し会員の技術向上を図るとともに、シルバー事業後継者の育成に努めます。

(4) 職群班の充実

草刈班、剪定班の拡大と充実を進めるとともに、各種職群班を設置しグループ就業の効果的推進を図ります。

(5) 関係団体との連携

商工会議所、商工会、ハローワーク等との連携を密にして就業先の拡大を図ります。

IV 安全就業の推進

「就業中や就業途上の事故を起こさない。安全を全てに優先させる」を念頭に、安全部会活動の充実、巡回パトロール指導や安全講習会の開催、安全就業ニュースの発行を通して会員の安全就業意識を啓発し、安全就業の確立に取り組みます。

なお、万が一の事故に備えて「シルバー人材センター団体傷害保険」に加入しています(通院1日につき2,000円、入院1日につき3,000円)。また、賠償保険(対人、対物)における免責額は0円です(平成30年10月より)。

全国的に刈払機、チェーンソーによる事故が多発しています。刈払機取扱講習会、チェーンソー取扱講習会を開催します。

(1) 安全点検の履行

特に事故の発生が多い草刈作業、剪定作業において、就業会員が「安全就業点検表」による就業時の安全点検を行うことにより安全就業に繋げる。

(2) 安全具着用の義務

① 高所作業: ヘルメット、命綱

② 剪定(伐採を含む): ヘルメット、安全带、保護メガネ(現場による)

③ 草刈: ヘルメット、肩掛けバンド、保護メガネ(保護面)、作業に適した靴等(現場によりスパイク付)、手袋(振動障害予防仕様の手袋もあります)

(3) 安全講習会を開催し、関係作業会員の参加を義務付け、安全意識の徹底を図る。

(4) 安全パトロールの回数を増やし、作業状況を把握するとともに安全就業の徹底を図る。

(5) 共同作業では、班長やリーダーが安全具着用を確認・指導するとともに、お互いが声を掛け合い危険防止を図る。

(6) 刈払機による飛び石は、想定外のところまで飛んで事故を起こすことがあり、コンパネや防護ネット等を利用し事故を防ぐ。

V 普及啓発活動の推進

(1) 広報等の活用

① 広報「はまだ」にPR文の掲載をお願いし、またホームページを活用してシルバー事業の普及啓発に努めます。

② 会報「飛翔」を関係先に配布しシルバー事業のPRに努めます。

③ 会員募集と就業先開拓のチラシ等を作成し、公共的な施設等に配架しシルバー事業のPRに努めます。

(2) 地域班の活性化

広く市民にシルバー事業を理解いただき、会員の入会促進や就業先の拡大を図るためには、地域において会員、役員が積極的な広報活動を進める必要があります。

このため会員からの意見を受け止め、会員と役員が一緒になった取組みを

行う体制づくりの場として地域班は重要な役割を持っています。地域班活動を活性化させるため、地域班会議を開催します。

(3) 行政への働きかけ

シルバー人材センターは、法律に基づく公共性・公益性の高い団体であり、高齢者施策の一端を担うものであることを広く市民にPRするとともに、行政に対しても運営状況や事業報告等について積極的な情報公開を行い、就業先情報の提供を求めます。

(4) 報道機関の活用

新聞等のマスコミに各種の情報を提供し、シルバー事業の普及啓発に努めます。また、新聞に折込チラシを入れます。

VI 有料職業紹介事業の実施

臨時的・短期的又は軽易な業務の雇用による就業を希望される高齢者に向け、有料職業紹介事業を実施します。

VII シルバー農園事業

シルバー事業の幅を広げるとともに、会員の入会促進を目的として取組みを始めたシルバー農園事業を引続き推進します。収穫された野菜の一部は、定時総会や各種催物等で販売します。

今年度も、れんげ保育園と共同してサツマイモの栽培を行います。多数の園児、保護者が参加される予定であり、シルバー農園への会員の積極的な参加をお願いします。

VIII ボランティア活動の実施

シルバー人材センターの社会貢献活動として、看護学生との交流事業や模擬患者実習でお世話になっている、浜田医療センター附属看護学校の周辺の除草作業を実施します。多くの会員のご参加をお願いいたします。

(1) 期 日 7月8日(金)及び10月7日(金)

※台風等を除き雨天決行

(2) 集 合 7月8日は午前7時、10月7日は午前7時30分 看護学校玄関前

(3) 作 業 草刈、草取、草の集積、積込、運搬

(4) 用 具 作業に必要な用具は持参(刈払機、ねじり鎌、熊手、ホウキ)

※刈払機の燃料は事務局で準備します。

(5) 申 込 6月24日(金)または9月22日(木)までに事務局へご連絡ください。

IX 研修旅行について

今年度の研修旅行は、新型コロナウイルス感染症の状況をみて判断します。

第3号報告

令和4年度収支予算について

公益社団法人浜田市シルバー人材センター令和4年度収支予算について、
定款第42条第1項の規定により報告する。

令和4年6月17日提出

公益社団法人浜田市シルバー人材センター
理事長 小松原 俊行

令和4年度 収支予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減額	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受託事業収益	141,800,000	136,600,000	5,200,000	
受取配分金	120,000,000	116,000,000	4,000,000	
受取材料費等	9,800,000	9,000,000	800,000	
受取事務費	12,000,000	11,600,000	400,000	配分金の10%
労働者派遣事業等収益	5,000,000	4,671,000	329,000	
労働者派遣事業等収益	5,000,000	4,671,000	329,000	連合会からの派遣事業協力金
受取会費	1,050,000	1,050,000	0	
正会員受取会費	1,020,000	1,020,000	0	会費(年会費2,000円)
賛助会員受取会費	30,000	30,000	0	会費(年会費個人2,000円、団体3,000円以上)
受取補助金等	19,600,000	19,600,000	0	
受取連合交付金	9,800,000	9,800,000	0	国庫補助金
受取市補助金	9,800,000	9,800,000	0	市補助金
雑収益	206,000	217,000	△ 11,000	
受取利息	1,000	1,000	0	預金利息
雑収益	205,000	216,000	△ 11,000	
配当金収入	1,000	1,000	0	
配当金収入	1,000	1,000	0	
経常収益計	167,657,000	162,139,000	5,518,000	
(2) 経常費用				
事業費	164,134,000	158,385,000	5,749,000	
支払配分金	120,000,000	116,000,000	4,000,000	就業会員に対する配分金支払
支払材料費等	9,800,000	9,000,000	800,000	原材料代、就業に伴う諸経費など
産業医報酬	240,000	240,000	0	
給料手当	16,788,000	16,927,000	△ 139,000	職員基本給、期末勤勉、諸手当
臨時雇用賃金	0	0		
法定福利費	2,671,000	2,627,000	44,000	社会保険、労働保険等
退職金給付費用	664,000	638,000	26,000	中小企業退職金共済掛金 企業年金基金
福利厚生費	43,000	38,000	5,000	健康診断料等
会議費	2,000	2,000	0	会議経費
役員等旅費交通費	179,000	175,000	4,000	役員のリバー事業に係る旅費
旅費交通費	200,000	81,000	119,000	職員の会議・研修等に要する旅費 ※14新任事務局長研修73,560円加算
通信運搬費	1,412,000	1,314,000	98,000	郵便料、電話料等
減価償却費	320,000	710,000	△ 390,000	
什器備品費	10,000	10,000	0	事業用備品
消耗品費	791,000	666,000	125,000	事務用消耗品、燃料費等
修繕費	486,000	109,000	377,000	自動車、作業場等の修繕費
印刷製本費	300,000	347,000	△ 47,000	事務局だより印刷費
光熱水料費	898,000	714,000	184,000	電気料、水道料、ガス料
賃借料	3,064,000	2,770,000	294,000	パソコン機器・ソフトの賃借料等
保険料	2,121,000	2,119,000	2,000	団体傷害、賠償責任、自動車任意保険料
諸謝金	186,000	122,000	64,000	安全部会、広報部会等
租税公課	749,000	586,000	163,000	契約に伴う印紙税等
支払負担金	433,000	433,000	0	全シ協、連合会の年会費等
組織活動助成費	109,000	104,000	5,000	会員組織活動の助成

科 目	予算額	前年度予算額	増減額	備 考
委 託 費	2,304,000	2,449,000	△ 145,000	車検車両の減
教 材 費	5,000	5,000	0	資料代等
支 払 手 数 料	344,000	184,000	160,000	振込手数料等
貸 倒 損 失	0	0		
雑 費	15,000	15,000	0	事業に係る雑費
管 理 費	3,523,000	3,754,000	△ 231,000	
役 員 報 酬	798,000	798,000	0	理事長、副理事長、理事、監事報酬
嘱 託 職 員 賃 金	2,169,000	2,169,000	0	
給 料 手 当	0	0	0	職員基本給、期末勤勉、諸手当
法 定 福 利 費	111,000	317,000	△ 206,000	社会保険、労働保険等
退 職 金 給 付 費 用	0	49,000	△ 49,000	中小企業退職金共済掛金
福 利 厚 生 費	10,000	8,000	2,000	健康診断料等
会 議 費	3,000	3,000	0	総会、理事会等の会議費
役 員 等 旅 費 交 通 費	35,000	41,000	△ 6,000	役員の会議出席旅費
旅 費 交 通 費	0	0	0	職員の研修会等旅費
通 信 運 搬 費	83,000	83,000	0	郵便料、電話料等
什 器 備 品 費	10,000	10,000	0	事業用備品
消 耗 品 費	80,000	75,000	5,000	事務用消耗品、燃料費等
印 刷 製 本 費	22,000	22,000	0	総会資料印刷費
光 熱 水 料 費	2,000	2,000	0	電気料、水道料、ガス料
賃 借 料	12,000	12,000	0	パソコン機器・ソフトの賃借料等
保 険 料	30,000	29,000	1,000	役員賠償責任保険料
諸 謝 金	74,000	62,000	12,000	総務部会、事業部会、女性部会
支 払 負 担 金	36,000	31,000	5,000	浜田商工会議所会費等
委 託 費	1,000	1,000	0	プログラム保守料等
雑 費	47,000	42,000	5,000	借入金支払利息、その他諸雑費
経 常 費 用 計	167,657,000	162,139,000	5,518,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2 経常外増減の部				
(1)経常外収益				
固定資産売却益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用				
固定資産売却損	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	0	0		
一般正味財産期末残高	0	0	0	
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
受取補助金等				
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
Ⅲ 正味財産期末残高	0	0	0	

収支予算書に係る注記

1 投資活動及び財務活動に関する見込

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減額	備 考
投資活動収支の部				
投資活動収入				
固定資産売却収入	0	0	0	
車両運搬具売却収入	0	0	0	
什器備品売却収入	0	0	0	
敷金・保証金等戻り収入	0	0	0	
預託金戻り収入	0	0	0	
特定資産取崩収入	2,574,000	2,574,000	0	
財政運営資金積立資産取崩収入	1,500,000	1,500,000	0	
事務所移転費用積立資産取崩収入	1,074,000	1,074,000	0	
投資活動収入計	2,574,000	2,574,000	0	
投資活動支出				
固定資産取得支出	0	226,000	0	
車両運搬具購入支出	0	226,000	0	
什器備品購入支出	0	0	0	
敷金・保証金等支出	0	6,000	0	
預託金支出	0	6,000	0	
特定資産取得支出	2,574,000	2,574,000	0	
財政運営資金積立資産取得支出	1,500,000	1,500,000	0	
事務所移転費用積立資産取得支出	1,074,000	1,074,000	0	
投資活動支出計	2,574,000	2,806,000	△ 232,000	
投資活動収支差額	0	△ 232,000	232,000	
財務活動収支の部				
財務活動収入				
借入金収入	0	0	0	
短期借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
財務活動支出				
借入金返済支出	0	0	0	
短期借入金返済支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	0	△ 232,000	232,000	

- 1 受取配分金等の増加に連動する支出（支払配分金、支払材料費等）に限り予算額を超えて執行することができる。
- 2 借入金限度額 令和3年度の短期借入金限度額は500万円とする。
- 3 債務負担額 次表のとおりリース契約により債務を負担する。

(単位：円)

年度 契約先 品名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計
NRI社会情報システム(株) エイジレス80コネク	1,771,440	1,771,440	1,771,440				5,314,320
リコーリース(株) パソコン機器	472,560	472,560	354,420				1,299,540
NRI社会情報システム(株) CTIシステム	183,370	183,480	183,480	183,480	183,480	15,290	1,084,380
日本電気株式会社 電話機システム7台	237,802	238,920	238,920	238,920	238,920	19,910	1,213,392
シャープファイナンス リコー複合機MP-C2201	55,728	55,728	4,644				394,740
合 計	3,151,340	2,722,128	2,552,904	422,400	422,400	35,200	9,306,372

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における短期借入金及び長期借入金の予定の有無。

(単位:円)

借入の予定		<input checked="" type="checkbox"/>	あり	<input type="checkbox"/>	なし
事業 番号	借入先	金額		使途	
1	日本海信用金庫	5,000,000		配分金の支払	

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定の有無

(単位:円)

設備投資の予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業 番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額		資金調達方法又は 資産の使途	